

さぬきの安全 2025



香川県警察

県民の皆様には、平素から警察諸活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、令和6年の県下の治安情勢は、刑法犯認知件数が3年連続で増加しており、とりわけ特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺の被害が大きく増加したほか、ストーカー、DV、児童虐待など被害者等関係者の安全確保が最優先されるべき事案が高止まりしている状況にあります。

他方、交通事故死者数については、4年連続で前年を下回り、統計資料が残る昭和23年以降で最も少なかった昭和24年と同数の31人になるなど、これまでの取組の一定の成果が表れました。しかしながら、人口当たりでは全国ワースト11位となっており、更なる減少を目指すべきといえます。

また、重要な社会経済活動が営まれる公共空間へと変貌を遂げたサイバー空間をめぐる脅威は、引き続き深刻な情勢にあるほか、南海トラフ地震はもとより、近年、全国的に激甚化・頻発化する豪雨災害等、各種大規模災害の発生も懸念されています。

こうした治安情勢を踏まえ、県警察といたしましては、本年の運営指針を「県民の期待と信頼に応える力強い警察」と定め、県民の皆様の安全・安心の確保を目指し全職員が一丸となって取り組んでまいります。

この広報誌が警察活動に対するご理解を深めていただく一助となることを期待いたしますとともに、今後の警察活動に対してなお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

香川県警察本部長
岡本 慎一郎

広報誌「さめきの安全」は、平成3年から県警察において毎年発行している広報誌で、県警察の活動状況や各種施策を写真やグラフを用いて、コンパクトにまとめた警察広報資料です。

「さめきの安全2025」 contents

香川県警察のしくみ 3

- 1 香川県警察の組織
- 2 香川県公安委員会

香川県の治安情勢に関する指数の推移 4

活動写真 5

警察署の活動 7

令和6年の警察活動

犯罪防止に向けた取組みの推進 13

- 1 令和6年中の県内における治安情勢
- 2 犯罪の起きにくい社会づくりの推進
- 3 制服警察官による地域の実態に即した街頭活動等の強化
- 4 少年の非行防止及び保護対策の推進
- 5 良好な生活環境を守るための諸対策の推進

人身の安全を確保するための対策の徹底 16

- 1 令和6年中の人身安全関連事案の認知・検挙状況
- 2 人身安全関連事案対策の推進

サイバー空間の脅威への的確な対処 17

- 1 サイバー事案等への対策
- 2 人材育成の推進
- 3 官民連携による被害防止対策の推進

重要犯罪等の徹底検挙 19

- 1 重要犯罪、重要窃盗犯の徹底検挙
- 2 構造的不正事案への対応
- 3 科学捜査力の強化

暴力団等組織犯罪対策の推進強化 21

- 1 総合的な組織犯罪対策の推進
- 2 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺摘発に向けた取締りの強化

交通死亡事故の抑止 23

- 1 令和6年中の交通事故発生状況等
- 2 道路交通秩序の維持
- 3 交通安全思想の普及促進
- 4 安全運転の確保
- 5 交通事故の起きにくい道路交通環境の整備

テロの未然防止の徹底と大規模災害への対処力の強化 27

- 1 テロの脅威等への対処
- 2 大規模災害への対処力の強化

警察活動を支える基盤の整備と柔軟な組織運営の推進 29

- 1 県民の視点に立った警察活動の推進
- 2 第一線における職務執行を支える取組みの推進
- 3 警察運営の合理化・効率化の推進
警察学校における採用時教育

1 香川県警察の組織

香川県警察には、警察本部や警察学校等のほか、12の警察署が置かれています。

香川県警察組織図



2 香川県公安委員会

◇ 公安委員会制度

警察は、強い執行力を有しており、独善的な運営がなされたり、政治的に利用されることがあってはなりません。公安委員会制度は、国民の良識を代表する者が警察の管理を行うことで、警察の民主的運営と政治的中立性を確保することを目的として設けられた制度で、警察法に定められています。

◇ 組織

香川県公安委員会は、香川県知事が香川県議会の同意を得て任命した3人の委員で構成されています。委員の身分は、「特別職に属する非常勤の地方公務員」です。任期は3年で、2回に限り、再任が認められています。

◇ 警察法に基づく権限

- ・ 法令又は条例の委任に基づく香川県公安委員会規則の制定
- ・ 香川県警察の事務又は香川県警察職員の非違に関する監察の指示
- ・ 香川県公安委員会に対する苦情申出の受理 等

◇ 各種法令に基づく権限

- ・ 道路交通法に基づく交通規制、運転免許とそれに対する取消処分
- ・ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律に基づく指定暴力団の指定、暴力的要求行為等に対する措置命令
- ・ 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に基づく風俗営業の許可と取消処分 等

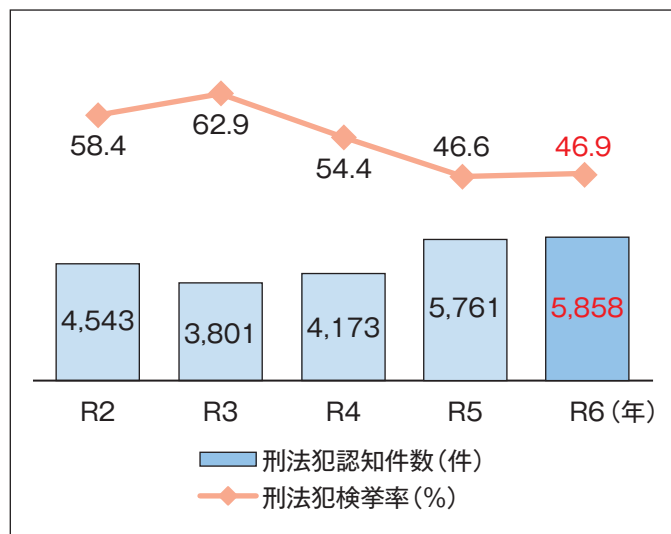
◇ 活動内容

香川県公安委員会は、原則として毎月3回定例会議を開き、香川県警察から、警察運営の基本方針や各種施策のほか、日々発生する事件、事故及び災害の発生状況とこれらに対する警察の取組状況等について報告を受け、委員会としての意見を述べ、香川県警察の業務運営に反映させています。

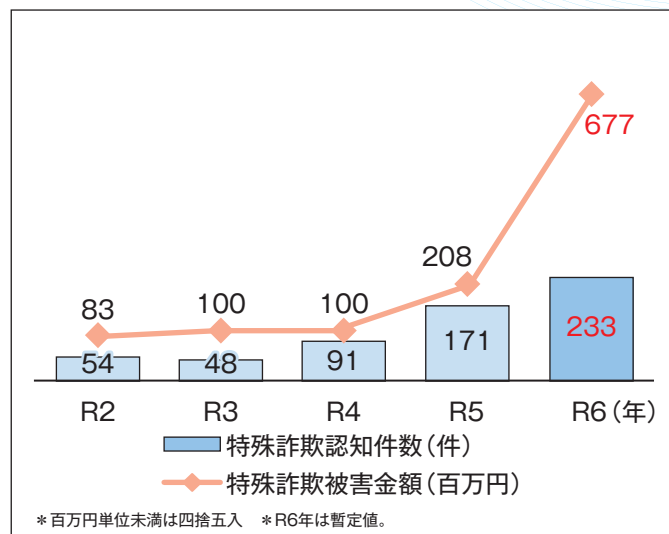
数字でみる香川県の治安情勢

香川県の治安情勢に関する指数の推移

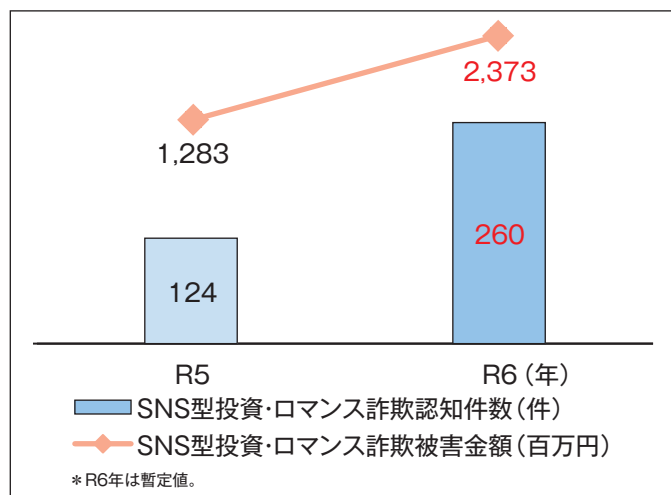
○刑法犯認知件数・刑法犯検挙率



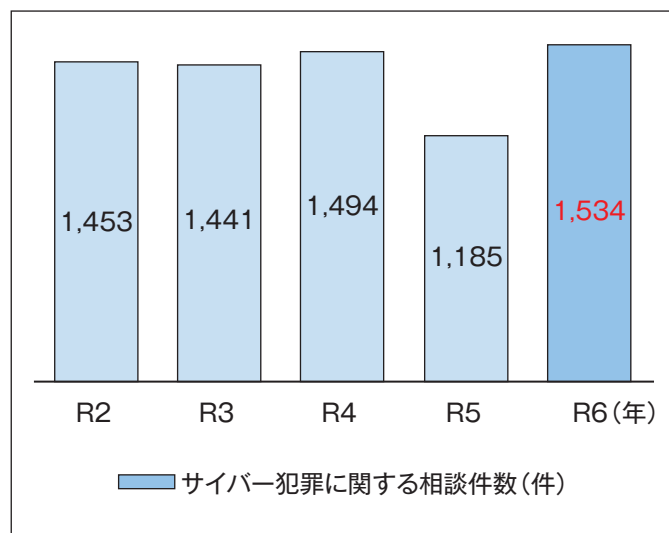
○特殊詐欺認知件数・特殊詐欺被害金額



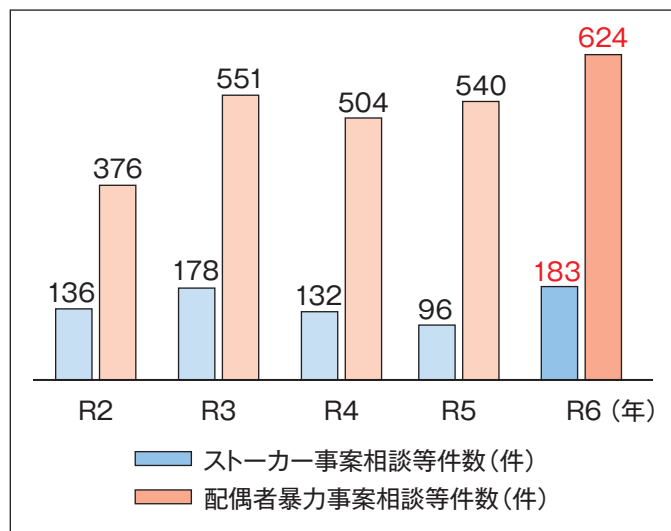
○SNS型投資・ロマンス詐欺認知件数・SNS型投資・ロマンス詐欺被害金額



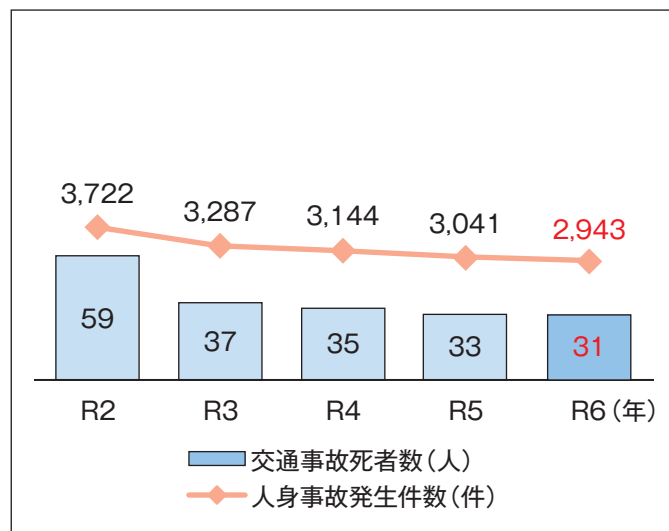
○サイバー犯罪に関する相談件数



○ストーカー事案・配偶者暴力事案相談等件数



○交通事故死者数・人身事故発生件数





『伝承!一刻も早く、助けるために』



『指紋あるかな』

『備えよ常に
信号機復旧訓練』



『航空隊と連携した取締り』

県民の期待と信頼に応えるために



『水難救助訓練』



『県民を想う心は誰にも負けん!』



『一年に一度だけ』



『平和祈願』



『未来の警察官』



『教えて!白バイのおまわりさん!!』



『白バイに憧れて』



『ちびっ子のヒーロー!』



『再会を願って』



『右、左、右』



『飲酒運転撲滅キャンペーンに伴うパレード』

音楽隊



『第9回香川県警察音楽隊演奏会』

警察署の活動

東かがわ警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 2月2日 ウレタン加工会社に対する非現住建造物等放火事件の検挙
- 8月29日 県下初の線状降水帯による水害の発生
- 9月30日 東かがわ市役所職員に対する不審者対応訓練
- 11月19日 未解決殺人事件の情報提供を求めるキャンペーンの実施
- 12月16日 多重事故による交通死亡事故の発生



県下初の線状降水帯による水害の発生

東かがわ市内に県下初となる線状降水帯が発生し、引田地区では、県内の観測史上最多となる1時間に103.5ミリの雨量を観測しました。

降り始めから、瞬く間に市内各地において道路が冠水し、その結果、国道11号や主要県道の数箇所では道路管理者による一時全面通行禁止規制がかけられ、その他の主要県道の多数の箇所でも片側通行規制が行われました。

また、大内地区や白鳥地区を中心として床下、床上浸水、さらには、山沿い数箇所でも土砂崩れの被害が相次ぎ発生しましたが、不幸中の幸いでけが人が出ることはありませんでした。



さぬき警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 6月10日 外国人に対する防犯・交通・防災講習の実施
- 6月14日 さぬき署に統合後初の交通死亡事故ゼロ継続1,000日達成
- 7月31日 地域警察官の職務質問を端緒とした大麻密売事件の検挙
- 8月17日 「瀬戸内海国立公園指定90周年記念花火大会」の雑踏警備
- 10月17日 第50回衆議院議員総選挙に伴う警護



高齢者交通安全・防犯教室の開催

12月10日、さぬき市B&G海洋センター体育館において『高齢者交通安全・防犯教室』を開催しました。近隣の市民を中心に約200人の観衆が集ったなかで、香川県警察音楽隊による生演奏が奏でられ、コミカルな寸劇やカラーガードフラッグ演技を交えながら、詐欺被害防止についての防犯指導や交通事故防止を力強く呼び掛けました。

音楽隊により奏でられる演奏曲は、懐かしいものを中心に選曲されており、御高齢の観衆の方々が、瞳を輝かせながら曲を口ずさみ、手拍子をしている姿が、あたかも演奏に参加しているかのようで、とても喜ばれました。



高松東警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 6月24日 管内の外国人雇用企業等の連携強化
- 7月30日 職員家族を招いてファミリーデーを開催
- 9月24日 高松東高等学校とコラボした交通事故防止活動
- 10月24日 三木町で発生した重要犯罪、犯人をスピード検挙
- 10月25日 ファストフード店において防犯キャンペーンを実施



高松東高等学校とコラボした交通事故防止活動の実施

7月から11月にかけて、香川県立高松東高等学校の生徒と協働して様々な交通事故防止活動を実施しました。

この活動内容は、高校生と当署若手警察官が中心となって考えたもので、自転車の交通ルール周知に向けた動画の作成や、交通安全優秀標語をデザイン化した幟旗を活用した立哨キャンペーン等を行いました。



小豆警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 4月25日 ロープウェイ救助訓練の実施
- 5月9日 交通事故負傷者人命救助功労者に対する表彰
- 6月25日 「自転車乗車用ヘルメット」贈呈式の実施
- 7月7日 関係機関による水難救助訓練(陸・海・空)の実施
- 7月25日 坂手駐在所開所式の開催



坂手駐在所開所式の開催

7月25日、建て替え工事を終えてリニューアルオープンした坂手駐在所の開所式が小豆島町長をはじめ地域住民の出席のもと盛大に開催されました。駐在所の建物は、小豆島を象徴する醤油蔵をイメージした外観となり、坂手地区の児童たちから花束と声援を贈られた駐在所員は、「この街と住民を守る」決意を新たに、新駐在所での勤務をスタートさせました。児童たちは、生まれ変わった駐在所で一日駐在所員を体験し、思い出深い夏休みの一日となりました。



警察署の活動

高松北警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 2月～5月 嬰兒被害の殺人・死体遺棄事件の検挙
- 4月17日 直島駐在所開所式の開催
- 7月3日 匿名・流動型犯罪グループによる売春防止法違反事件の検挙
- 8月20日 六代目山口組傘下組織組員による野球賭博開張図利事件の検挙
- 10月16日 第50回衆議院議員総選挙に伴う石破総理大臣警護警備の完遂



繁華街における総合的な治安対策の実施

繁華街の安全・安心を確保するため、挙署一体となって、客引きや違法営業の検挙、少年の非行・被害防止、交通違反取締りなどの総合的な対策を実施しました。

なかでも7月～8月末までの対策強化期間中は、路上で男性に暴行を加えて転倒させたまま立ち去り、その後、同所を通りかかった自動車がひき去り重傷を負わせた事件を重過失傷害等の罪で検挙したほか、飲酒絡みの傷害事件、悪質な客引き行為、違法駐車や酒気帯び運転などを検挙・指導するとともに、少年に対する声掛けや補導を行いました。



高松南警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 5月29日 ベトナム人らによる入管法違反事件の検挙
- 7月19日 県下初DJポリスによる飲酒運転根絶啓発の実施
- 8月1日 少年被害の殺人事件の検挙
- 10月3日 暴力団幹部組員による覚醒剤営利目的所持事件の検挙
- 11月8日 コンビニエンスストア被害の持凶器強盗未遂事件の検挙



暴力団幹部組員による覚醒剤営利目的所持事件の検挙

10月3日、8月に高松市内のアパートで覚醒剤を営利目的で所持していたとして、暴力団幹部組員を覚醒剤取締法違反(営利目的所持)の疑いで逮捕し、覚醒剤約49グラム(末端価格約320万相当)を押収しました。

被疑者は、六代目山口組傘下組織の幹部であり、6月に他人名義でアパートの賃貸契約を結んだとして、詐欺容疑で逮捕されていたもので、その後の捜査で覚醒剤を発見しました。



坂出警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 4月6日～6月19日 大麻等の密売人及びその買受客等、計5名を検挙
- 9月20日 香川短期大学とコラボした宇多津北小学校における防犯教室の実施
- 9月23日 児童による高齢者対象の交通教室の実施
- 10月16日 第50回衆議院議員総選挙に伴う石破総理大臣警護警備の完遂
- 10月13・20・26日 秋祭り等の雑踏警備の完遂



第50回衆議院議員総選挙に伴う石破総理大臣警護警備の完遂

10月16日、第50回衆議院議員総選挙に伴い、石破総理大臣が来県し、坂出市市民広場において、応援演説が行われました。

昨今の非常に厳しい警護情勢に鑑み、坂出警察署だけでなく、他所属からの応援派遣を受け入れての厳重な警護となりました。

当日は秋らしからぬ気温となり、体力的にも厳しい環境の中、警護対象者及び聴衆の安全を確保しながら、警察官同士だけでなく主催者側との連携を密に行い、警護警備を無事に完遂しました。



高松西警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 5月13日 子供の水難事故・交通事故防止祈願祭の実施
- 6月10日 ロックの日(6月9日)自転車盗防止キャンペーンの実施
- 7月17日 大規模災害発生時における施設使用の協力に関する協定の締結
- 9月24日 騎馬警察官による交通安全キャンペーンの実施
- 10月7日 大麻取締法違反事件の検挙



大規模災害発生時における施設使用の協力に関する協定の締結

綾川町内の区域において、南海トラフ地震を始め、大規模災害が発生し、高松西警察署庁舎が使用出来なくなった場合に、綾川町から警察署の代替施設として「綾川町立生涯学習センター」の提供を受けることについて、必要な事項を定めた協定を、7月17日に綾川町役場において締結しました。



警察署の活動

丸亀警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

5月3・4日 「第75回丸亀お城まつり」 雑踏警備完遂
8月6日 業務体験プログラム「丸亀署へ行こう!2024」の開催
9月18日 大学生に対する犯罪実行者募集(闇バイト)対策
10月19日 荒磯親方を招いた防犯イベントの開催
11月20日 大手造船メーカーにおける労働安全衛生法違反事件等の検挙



業務体験プログラム「丸亀署へ行こう!2024」の開催

将来、警察官・職員を目指している方を対象として、警察業務の体験を通じて、職務内容への理解を深めるとともに、採用試験に関する不安や疑問点等に答える業務体験プログラム「丸亀署へ行こう!2024」を開催しました。当日は30名近くの参加があり、参加者からは「警察官・職員の業務が大変良く理解でき、強く警察官・職員になりたいと感じました。」といった声が聞かれ、大変有意義なものとなりました。



琴平警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

1月4・24日 窃盗余罪多数の被疑者を大麻・覚醒剤取締法違反で検挙
8月24・25日 野外音楽フェスティバル「モンスターバッシュ」の雑踏警備
10月10・11日 金刀比羅宮「例大祭」・「還幸祭」の雑踏警備
11月12日 香川・徳島両県合同による三頭トンネルでの防災訓練
12月19日 年末年始の特別警戒及び防犯・交通街頭キャンペーンの実施



四国こんぴら歌舞伎大芝居お練りに伴う雑踏警備

4月5日から同月21日までの間、琴平町の旧金毘羅大芝居(金丸座)において、「第37回四国こんぴら歌舞伎大芝居」公演が開催され、前日の4月4日には、十代目松本幸四郎丈をはじめ豪華俳優陣が琴平町内を人力車に乗り廻る「お練り」が行われました。

同公演は、平成31年以来となる5年ぶりの開催で、全国各地から集まった大勢の歌舞伎ファンで賑わいましたが、厳重な雑踏警備の結果、大きな事件や事故なく無事に終了することができました。



三豊警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

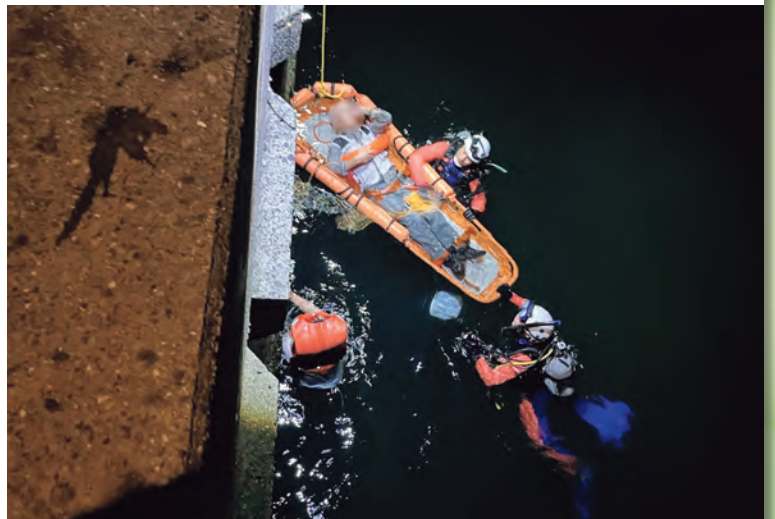
- 1月16日 インターネット上で偽ブランド品を販売した商標法違反被疑者の検挙
- 4月、5月、9月、12月 三豊交通安全協会による交通安全啓発モニュメントの設置
- 10月4日 高知東警察署で5年ぶりに開催された4県6署による県境警察署連絡会議への参加
- 11月5日 解体・新築工事仲介名下の高額詐欺事件の検挙
- 11月23日 SNS利用による未成年者誘拐事件の検挙



新人警察官お手柄～海中転落者の救助～

10月10日の夜、仁尾マリーナ西方の海に転落した人がいるとの通報により、現場に急行した詫間交番勤務の新人警察官が、通報者と相勤者の照らすわずかな灯りを頼りに約8メートル下の真っ暗な海に飛び込み、レスキュー隊到着まで転落者が海中に沈まないよう、その身体を確保し続け、無事に救出するという活躍がありました。

救助に当たった警察官は、救助活動後に「とにかく助けなければという思いで頑張った。」と語っていました。



観音寺警察署

前年の管内の主な出来事(警察事象)

- 5月2日 非現住建造物等放火事件検挙
- 5月17日 観音寺港の海中から特異行方不明者を発見
- 6月29日 水難事故防止七夕キャンペーンを実施
- 9月18日 自治体及び消防との災害協議会を開催
- 11月3日 被害車両を河川に転落させたひき逃げ事件被疑者の検挙



被害車両を河川に転落させたひき逃げ事件被疑者の検挙

11月2日、観音寺市内の市道交差点で車と軽乗用車が衝突し、弾みで軽乗用車が川に転落、軽乗用車とぶつかった車は現場から逃走するひき逃げ事件が発生しました。

11月3日、道路交通法違反(ひき逃げ)などの疑いで、被疑者を逮捕しました。

この事故では、軽乗用車の同乗者によって、転落して水没する車内から運転手が救助されました。同乗者には、観音寺署長から感謝状を贈呈しました。



犯罪防止に向けた取組みの推進

1 令和6年中の県内における治安情勢

- 令和6年中の刑法犯認知件数は、5,858件（前年比97件（1.7%）増加）と令和3年を底に3年連続で増加し、依然として万引き等の窃盗犯が高水準で発生しているほか、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害が大きく増加しました。
- 令和6年中の特殊詐欺の被害状況（暫定値）は、認知件数が233件（前年比62件（36.3%）増加）であり、その被害総額は約6億7,700万円（前年比約4億6,900万円（226.0%）増加）と認知件数、被害額ともに大きく増加しました。
- 令和6年中のSNS型投資・ロマンス詐欺の被害状況（暫定値）は、認知件数は260件（前年比136件（109.7%）増加）、被害総額は約23億7,300万円（前年比約10億9,000万円（85.0%）増加）と前年のほぼ2倍に上り、特に投資名目での被害が全体の約9割を占めています。

2 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

(1) 自主防犯活動の促進

- 企業による防犯CSR活動*の普及に取り組みました。
- 防犯ボランティア団体への物品支援のほか、日常生活で取り組める「ながら見守り」活動の普及に取り組みました。

※「防犯CSR活動」…事業者等が自ら企画・立案し、犯罪の被害防止など地域の安全に貢献する取組み



防犯CSR企業作成の強盗対策啓発用チラシ

(2) 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺対策の推進

- SNS型投資・ロマンス詐欺被害防止に向け金融機関等と協力して広報啓発用動画の作成や共同宣言に基づく各種被害防止活動を推進しました。



広報啓発用動画



共同宣言式

- 警察官OBで構成する防犯アドバイザーが金融機関やコンビニエンスストアのほか、高齢者宅を訪問して、被害防止に向けた助言、指導を行うとともに、犯人グループから押収した名簿の電話リストに基づき電話を架けて警戒を促しています。



被害仮想体験会の状況

- 防犯CSR企業と協力して生成AIを活用した詐欺被害を仮想体験できるツールを開発した上、県内において被害仮想体験会を実施しました。



県警詐欺防止キャラクター（治丸）

(3) いわゆる「闇バイト」対策の推進

若者等が犯罪実行者募集情報、いわゆる「闇バイト」に安易に応募することがないように、県警ホームページやX（旧 Twitter）等で、闇バイトの特徴や危険性のほか、脅迫されて抜け出せない者を保護する旨の情報発信に努めています。



広報啓発用チラシ

3 制服警察官による地域の実態に即した街頭活動等の強化

(1) 制服警察官による街頭活動等の強化

事件・事故の未然防止と犯人検挙のため、犯罪や交通事故が多発する時間帯・地域に重点を置いたパトロール、不審者に対する職務質問、危険箇所の把握、犯罪多発地域の家庭や事業者に対する防犯指導等を行いました。

そのほか、移動交番車を活用して交通事故、特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺の被害防止のための広報啓発活動や登下校時における見守り活動を行うなど、積極的に制服警察官の姿を見せる活動を行いました。



移動交番車

(2) 迅速・的確な初動警察活動の推進

- 令和6年中、6万6,485件※（前年比1,868件（2.9%）増加）の110番通報を受理しました。

警察本部通信指令室では、警察官を現場に急行させ事件・事故に即応させるとともに、被疑者の早期検挙と被害の拡大防止に努めました。

※無応答、いたずら、かけ間違い等を除く。



通信指令室

- 重大事件・事故に対しては、管轄警察署と自動車警ら隊、水上警察隊が連携し、迅速・的確な初動警察活動を推進したほか、鉄道の安全を確保するため、鉄道警察隊が列車内や鉄道施設及びその付近における警戒を強化しました。



自動車警ら隊



水上警察隊



鉄道警察隊

犯罪防止に向けた取組みの推進

4 少年の非行防止及び保護対策の推進

(1) 少年の規範意識の向上

- スクールサポーターを小・中学校に派遣し、万引き防止やインターネットの安全利用、大麻等の薬物乱用防止や闇バイトの危険性等について非行防止教室を開催しました。
- 中学生自らが非行防止の啓発を行う「かがわマナーアップリーダーズ活動」では、58校3,647人の登録があり、非行防止キャンペーンやSNS利用に関する注意喚起等の活動を行いました。

かがわマナーアップ
リーダーズサミット2024

(2) 立ち直り支援活動

周囲の環境や自身に問題を抱える少年に親子カウンセリングを活用した継続的な指導・助言や少年警察ボランティアと協力した学習支援等の立ち直り支援活動を推進しました。



学習支援

(3) 少年を取り巻く有害環境の浄化対策

- SNS上で少年の性被害につながるおそれのある不適切な書き込みを発見した場合、注意喚起のメッセージを書き込むほか、管理者に削除を求めるなどして少年を性被害から守る取組みを推進しました。
- 児童生徒及び保護者に対するインターネット安全利用の啓発活動、フィルタリング利用促進に向けた販売店への協力要請や、少年の性被害を防ぐため、ホテル等への注意喚起等の協力要請を行いました。

5 良好な生活環境を守るための諸対策の推進

(1) 生活経済・環境事犯対策

- 高齢者等を狙った悪質商法や商標権侵害事犯等の知的財産権侵害事犯において、県民からの相談に対して適切な助言や指導を行うことで被害防止を図るとともに、取締りを推進しました。
- 廃棄物の不法投棄、野焼き行為や無許可での医薬品の販売等、県民の健康を脅かす事犯に対し、関係機関と連携して事案の早期発見に努めるとともに、徹底した検挙により被害の拡大防止に努めました。

(2) 風俗環境浄化対策

清浄な風俗環境を確保するため、繁華街における客引きへの指導や少年補導、届出・許可店舗等への立入りによる行政指導・行政処分、各種法令を駆使した取締りのほか、関係機関・団体と連携したキャンペーンを実施しました。



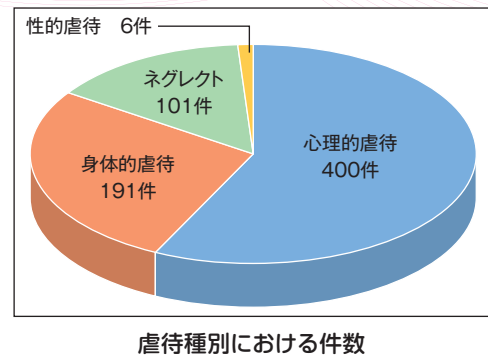
繁華街パトロール

人身の安全を確保するための対策の徹底

1 令和6年中の人身安全関連事案の認知・検挙状況

(1) 児童虐待事案の認知・検挙状況

令和6年中の児童虐待が疑われる事案認知件数は780件（前年比30件（3.7%）減少）、検挙件数は53件（前年同数）となっています。虐待の種別では、心理的虐待が400件と最も多く、以下、身体的虐待191件、ネグレクト（育児怠慢・拒否）101件、性的虐待6件となっています。



(2) ストーカー・DV事案の認知・検挙状況

- 令和6年中のストーカー事案の認知件数は183件（前年比87件（90.6%）増加）、禁止命令の発出件数は27件（前年比3件（12.5%）増加）、ストーカー規制法違反における検挙件数は19件（前年比5件（35.7%）増加）となっています。
- また、DV（配偶者暴力）事案の認知件数は624件（前年比84件（15.6%）増加）、保護命令違反の検挙件数は0件（前年比1件（100%）減少）となっています。

2 人身安全関連事案対策の推進

(1) 児童虐待事案対策

- 児童相談所、学校等の関係機関と緊密に連携して情報共有を行うほか、児童の一時保護を想定した児童相談所との合同現場対応訓練を行うなど、児童の安全確保を最優先とし、関係機関の連携の確認と現場対応力の向上に努めました。



初期聴取についての教職員向け研修

- 児童から正しい情報を聴き出すために有効な聴取方法である代表者聴取について、大学教授による研修会を開催して能力の向上に努めたほか、代表者聴取までの初期聴取期間の重要性や留意点に関する教職員向けの研修を行いました。

(2) ストーカー・DV事案対策

- ストーカー・DV事案は、事態が急展開して重大事件に発展するおそれがあることを常に念頭に置き、警告、禁止命令等の行政措置や刑法等の関係法令適用による検挙等、様々な措置を講じ、被害者及び被害関係者の安全確保を最優先とした対応に努めました。
- ストーカー規制法に基づく禁止命令等の措置を講じた加害者に対し、加害行為の再発防止を図り、もって被害者に対する再被害防止を図るため、警察官による連絡制度を開始しました。
- 被害者等に、緊急又は一時的に避難する場所を確保する必要性が生じた場合に、ホテル等の宿泊施設を利用するための費用を公費で負担する制度の適切な運用に努めました。

サイバー空間の脅威への的確な対処

1 サイバー事案等への対策

(1) サイバー事案等の取締り

- サイバー捜査を高度化する資機材を整備するとともに、これら新たな資機材を活用した捜査を推進しました。

【検挙事例】

- ◆ 外国人グループによるSNS型ロマンス詐欺事件のマネロン役のベトナム人を検挙

- いわゆる「闇バイト」等のサイバーパトロールを行い、犯罪実行者を募集する投稿者への警告やSNS事業者に対する削除要請を実施しました。

(2) サイバー攻撃への対策

- サイバーセキュリティ分野の有識者等と情報共有を図るとともに、サイバー攻撃に係る攻撃者や最新の手口等に関する情報の収集・分析を行い、攻撃者等の実態解明に努めました。
- 重要インフラ事業者に対する個別訪問等を通じて、情報共有及び注意喚起による危機意識の向上を図るとともに、サイバー攻撃事案が発生した場合における被害の拡大防止、迅速な対処に向けた連携強化を図りました。
- 重要インフラ事業者等の対処能力向上に向けたサイバー攻撃対策セミナーの開催、県内医療機関等との共同対処訓練の実施などサイバー攻撃対策に取り組みました。



SNS型ロマンス詐欺事件の押収物件



サイバーパトロール



サイバー攻撃対策セミナーの開催



医療機関との共同対処訓練の実施

2 人材育成の推進

(1) サイバー空間における脅威への対処に係る人材育成

- 「香川県警察におけるサイバーセキュリティ戦略」に基づき、部門間連携の強化、人材育成計画の策定等、警察組織の総合力を発揮するための諸対策を推進しました。



サイバーセキュリティ戦略推進委員会

サイバー空間の脅威への的確な対処

- 人材に関するキャリアパス管理を部門横断的かつ体系的に実施し、計画的な人材育成を推進することにより、全職員の対処能力向上を図りました。

(2) 捜査員等に対する実践的研修

- 民間事業者の知見等を活用した教養・研修や、特定の警察官を対象としたサイバー人材育成プログラムの運用により、サイバー捜査に従事する職員の知識・技能の更なる向上に取り組みました。
- 警察本部と各警察署をオンラインで繋ぎ、サイバー分野に関する知識・技能を競うサイバーセキュリティ研修（CTF研修）を実施しました。
- 情報通信事業者の職員を「香川県警察サイバーセキュリティ対策アドバイザー」に委嘱し、警察職員に対するセキュリティ講演会を開催しました。



サイバーセキュリティ研修(CTF研修)

サイバーセキュリティ対策
アドバイザーによる講演会

3 官民連携による被害防止対策の推進

(1) サイバー防犯ボランティアと連携した対策

- 大学・専門学校の学生で構成される2団体をサイバー防犯ボランティアに委嘱し、フィッシングサイトの閉鎖活動や広報啓発活動を支援するとともに、功労のあった学生に感謝状を贈呈しました。
- 啓発チラシや啓発動画の制作、学園祭におけるサイバー防犯イベントの開催など、ボランティアと連携した被害防止対策を推進しました。



サイバー防犯ボランティア委嘱式



ボランティアがデザインした啓発チラシ

(2) 関係機関・団体と連携した対策

- 県下の関係機関・団体及び企業で構成する「香川県プロバイダ等防犯連絡協議会」「香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク」「香川県サイバー攻撃対策協議会」との情報共有と連携を図り、サイバー事案による被害防止に向けた自主的取組みを促進しました。
- 行政機関等に対して、最新のサイバーセキュリティ情勢やその対策に関する講演を実施し、身近に迫るサイバー空間の脅威に対する危機意識の醸成を図りました。



行政機関に対するサイバーセキュリティ対策講演

重要犯罪等の徹底検挙

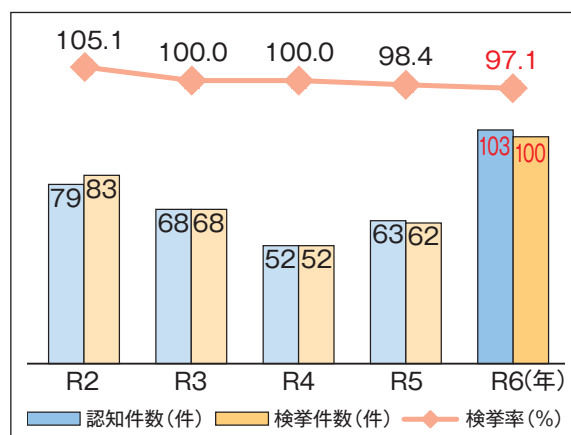
1 重要犯罪、重要窃盗犯の徹底検挙

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪^{※1}の認知・検挙状況の推移はグラフのとおりであり、令和6年中の認知件数は103件(前年比40件(63.5%)増加)、検挙件数は100件(前年比38件(61.3%)増加)、検挙率^{※2}は97.1%でした。

【検挙事例】

- ◆ 嬰兒被害の殺人、死体遺棄事件
[高松北署]
- ◆ 少年被害の殺人事件 [高松南署]
- ◆ 実子被害の殺人未遂事件 [小豆署]
- ◆ コンビニエンスストア被害の持凶器強盗未遂事件 [高松南署]



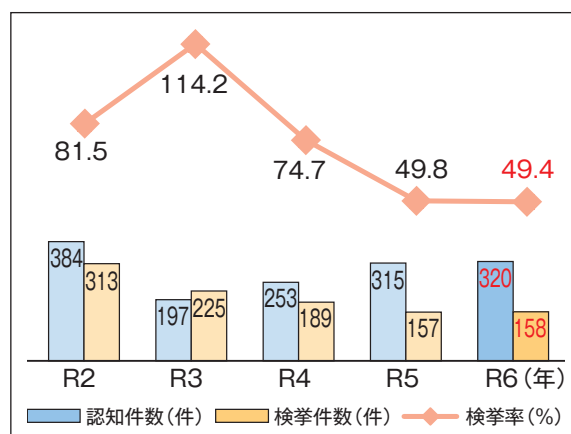
重要犯罪認知件数・検挙件数・検挙率の推移

(2) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

重要窃盗犯^{※3}の認知・検挙状況の推移はグラフのとおりであり、令和6年中の認知件数は320件(前年比5件(1.6%)増加)、検挙件数は158件(前年比1件(0.6%)増加)、検挙率^{※2}は49.4%でした。

【検挙事例】

- ◆ 窃盗常習者による空き家対象
連続窃盗等事件 [丸亀署]
- ◆ 素行不良者2名による住宅対象
連続窃盗等事件 [坂出署等]



重要窃盗犯認知件数・検挙件数・検挙率の推移

※1「重要犯罪」…刑法犯のうち、殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐・人身売買及び不同意わいせつの各罪種をいう。

※2 検挙は前年以前の認知事件等の検挙を含むことから、検挙率が100%を超える場合がある。

※3「重要窃盗犯」…窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりの各手口をいう。

2 構造的不正事案への対応

(1) 政治・行政・経済をめぐる不正の追及

- 政治・行政の公正性をゆがめる贈収賄事件、官製談合防止法違反事件、公務員による職務犯罪等の構造的不正事案を追及するため、端緒情報の把握に努めるとともに、事案の解明を進めました。
- 経済・金融システムを揺るがす企業経営等に係る違法事案や補助金及び給付金の不正受給等の経済的不正事案の取締りに努めました。

【検挙事例】 ◆ 土地改良区理事長らによる土地改良法違反(贈収賄)事件 [捜査第二課、高松南署]

(2) 選挙違反取締り

第50回衆議院議員総選挙の施行に伴い、警察本部及び県下各警察署に違反取締本部を設置し、文書掲示等の軽微な違反に対する警告を実施して選挙の公正を確保するとともに、公務員の地位利用による選挙運動の禁止違反事件を検挙し、厳正公平な取締りを実施しました。



第50回衆議院議員総選挙違反取締本部設置

3 科学捜査力の強化

(1) カメラ画像の活用

防犯カメラやドライブレコーダー等のカメラ画像は、犯人の特定や犯行の立証に有効であることから、犯罪捜査に欠かせないものとなっており、事件発生時には迅速にカメラ画像の収集・分析・解析を行い、犯人の割り出しに活用したほか、余罪の確認などにも役立てました。



カメラ画像捜査

(2) 鑑識資料の収集

現場から証拠資料を採取するための新たな手法についての研究開発や、採取技術向上のための教養を進めるなどして、重要犯罪を始めとする各種事件現場での鑑識資料の的確な検出・採取を推進し、犯人の特定や犯行状況の立証に役立てました。



現場鑑識教養状況

(3) 科学技術の活用

犯罪の悪質化・巧妙化等が進む中、犯人の特定や犯行状況の立証において極めて有用であるDNA型鑑定や指掌紋自動識別システム等の科学技術を有効に活用し、証拠を積み重ねることで犯行の立証などを的確に行いました。



DNA型鑑定

暴力団等組織犯罪対策の推進強化

1 総合的な組織犯罪対策の推進

(1) 暴力団及び匿名・流動型犯罪グループの実態解明と取締り強化

指定暴力団六代目山口組、二代目親和会及びそれらの傘下組織をはじめとする暴力団並びに特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺、薬物密売事犯等を敢行する匿名・流動型犯罪グループの実態解明とその中核的人物をターゲットとした戦略的な取締りを推進しました。

【検挙事例】

- ◆ 六代目山口組傘下組織組員による野球賭博開張図利事件〔捜査第二課、高松北署〕

(2) 社会が一体となった暴力団排除活動の推進

「暴力団排除推進旬間」(11月)に、地域暴力団排除組織等による暴力団排除キャンペーンや暴力団に関する出張相談を行うとともに、公益財団法人香川県暴力追放運動推進センター、自治体、暴力団排除活動団体等により「暴力追放住民会議」や「暴力追放キャンペーン」を開催し、社会一体となった暴力団排除活動を推進しました。



暴力団排除推進旬間開始式



暴力追放キャンペーン

(3) 薬物密売グループの取締り強化

- 違法薬物の密売を資金源とする薬物密売グループの取締りを強化し、大麻等の違法薬物を密売していた素行不良者グループの構成員らを検挙しました。

また、薬物の密売等、違法な資金源獲得活動で得た資金により、更なる違法活動を敢行するおそれがあることから、薬物犯罪収益等を剥奪するなど、資金源対策を推進しました。

- 若年層で乱用が広がっている大麻事犯の対策として、薬物乱用防止に取り組む学校や関係機関に対する講話や薬物乱用防止の広報啓発活動を実施しました。

【検挙事例】

- ◆ 営利目的による覚醒剤錠剤・大麻所持、違法薬物密売事件〔捜査第二課、高松南署〕

(4) 来日外国人犯罪グループ等の取締り強化と水際対策の推進

国際組織犯罪に対処するため、関係機関と連携した水際対策を推進し、出入国在留管理庁との間では、被疑者が国外に逃亡するおそれのある場合の手配や偽装滞在者等の摘発に向けた連携を強化し、税関や海上保安庁等との間では、不正輸出入を防止するための連携を図りました。



高松空港における警察・税関合同訓練

2 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺摘発に向けた取締りの強化

(1) 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺事件の徹底検挙

匿名・流動型犯罪グループにより広域的に敢行される特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺事件に的確に対処するため、全国警察が一体となった初動捜査を推進したほか、だまされた振り作戦による現場検挙や突き上げ捜査を徹底し、実行犯や中枢被疑者を検挙しました。

また、預貯金口座の不正売買等の特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺を助長する犯罪に対する取締りを推進しました。

【検挙事例】

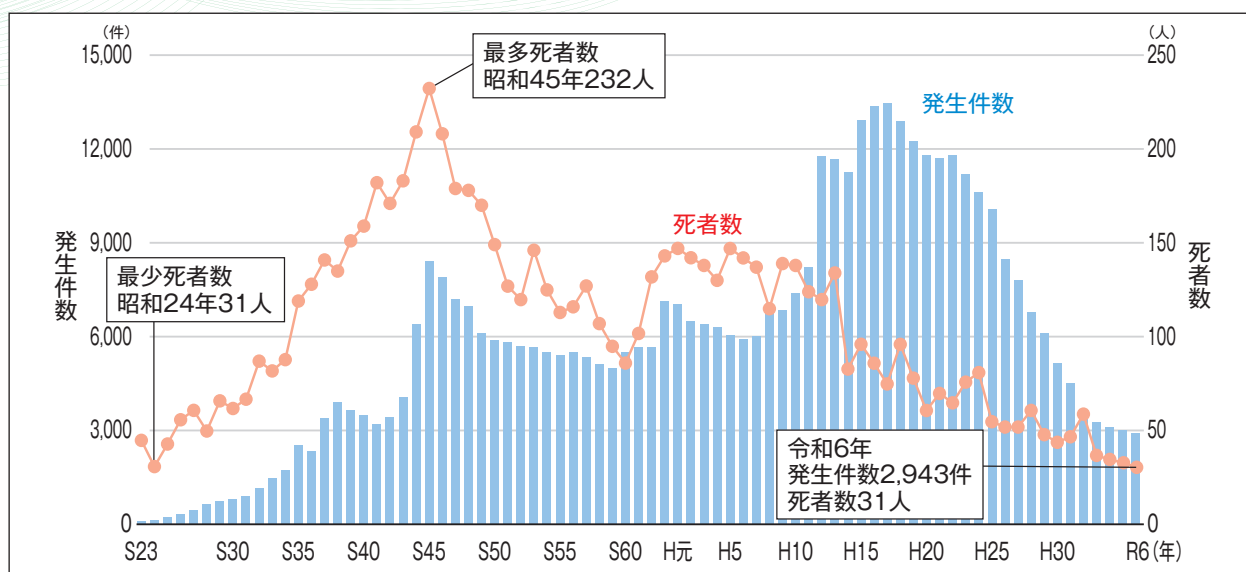
- ◆ 特殊詐欺グループの首謀者など5名を検挙した預貯金詐欺事件〔高松南署〕
- ◆ 市役所職員や銀行員を装って高齢者からキャッシュカードをだまし取った預貯金詐欺事件〔観音寺署〕
- ◆ 実業家を装って多額現金をだまし取ったSNS型ロマンス詐欺事件〔高松南署〕
- ◆ 資産運用会社社員を装って高齢者から現金をだまし取ろうとしたSNS型投資詐欺事件〔小豆署、高松北署〕
- ◆ SNS型ロマンス詐欺事件の犯罪収益隠匿に係る組織的犯罪処罰法違反事件〔小豆署〕

(2) 特殊詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺事件の検挙に向けた教養訓練の実施

特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺事件の被疑者を検挙するため、各種教養の機会において、実際の現場で起こり得る事案を想定したロールプレイング方式による実戦的な検挙訓練を実施しました。

交通事故の抑止

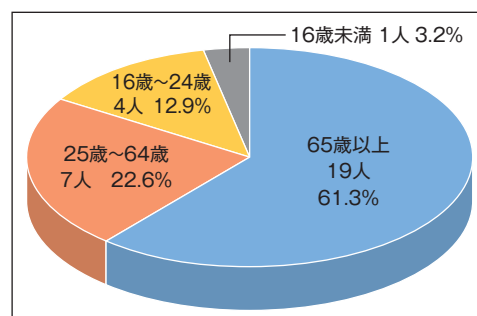
1 令和6年中の交通事故発生状況等



交通事故発生件数及び死者数の推移

- 令和6年中の県内の交通事故情勢は、人身事故の発生件数が2,943件（前年比98件、（3.2%）減少）、死者数が31人（前年比2人、（6.1%）減少）、負傷者数が3,579人（前年比133人、（3.6%）減少）といずれも前年より減少し、死者数については、統計資料が残る昭和23年以降最も少ない人数と同数で、4年連続30人台となりました。しかし、人口当たりの交通事故死者数は全国平均を大きく上回っているほか、特に、事故死者数に占める高齢者の割合、夜間の死亡事故発生割合が高い状況で推移しています。

- 県警察では、このような交通事故の発生状況を踏まえ、地図情報システム等を活用した緻密な交通事故分析の結果に基づき、交通事故抑止に資する交通指導取締りの強化、県民一人一人に届く交通安全教育の推進、関係機関・団体等と連携した安全で快適な交通環境の整備等総合的な交通安全対策を推進しました。



年齢層別の交通事故死者数

2 道路交通秩序の維持

(1) 効果的な交通指導取締りの強化

- 交通事故分析の結果や地域住民の要望等を踏まえ、取締りを行う時間、場所等の交通指導取締りに関する方針を策定し、計画的に取締りを実施するなどして交通事故抑止に資する交通指導取締りを推進しました。

また、交通指導取締りの必要性について県民の理解を得るため、交通事故情報と交通指導取締り情報を香川県警察安全・安心アプリ「ヨイチポリス」等により公開しました。



交通指導取締り

- 特別取締係「与一」により、交通事故の発生実態等を踏まえた柔軟かつタイムリーな交通指導取締りを県下一円で実施するとともに、取締り場所の確保が困難な通学路や生活道路等において、可搬式オービスを使用した速度違反取締りを実施することにより、通行車両の速度抑制や歩行者等の保護に努めました。
- 自転車指導啓発重点地区・路線を中心に、自転車利用者による信号無視、通行区分違反（右側通行、路側帯通行等）、一時不停止等の違反行為に対し、指導警告を行うとともに、悪質・危険な交通違反に対しては積極的に検挙措置を講じました。
また、特定小型原動機付自転車やペダル付電動バイク等の新たな小型モビリティに対しては、安全利用に関する広報啓発を行うとともに、交通指導取締りを推進しました。
- 飲酒運転の根絶に向け、県警ホームページに開設中の「飲酒運転根絶BOX」に寄せられる情報を基に、先制的な取締り等を実施し、検挙しました。



速度違反取締り



自転車利用者による交通違反に対する指導取締り



飲酒運転根絶BOXの運用

(2) 悪質な交通事故事件等に係る適正かつ緻密な捜査の推進・強化

- 交通事故事件捜査では、カメラ画像や痕跡等の客観的な証拠に基づいた事故原因の究明を図るとともに、交通事故当事者の負担を軽減するため、三次元（3D）レーザースキャナ図化システムを活用するなど、科学的な捜査を推進しました。
- ひき逃げ事件や死亡事故等においては、本部の交通事故事件捜査統括官が現場臨場し、事故状況の解明や犯人の割り出し等の組織的かつ重点的な捜査を推進するとともに、交通事故被害者等に対して、事故事件に関する情報を可能な限り提供するなど、その心情に配慮した支援に努めました。
- 交通事故事件のうち飲酒運転、無免許等が疑われるものについては、一般に交通事故に適用される過失運転致死傷罪より罰則の重い危険運転致死傷罪等の立件を見据えた捜査を推進しました。
- 地域住民や道路利用者に多大な迷惑を及ぼす暴走族や違法行為を敢行する「旧車會」に対しては、共同危険行為等禁止違反、騒音関係違反等の取締りを推進するとともに、関係機関と連携して不正改造車両を押収しました。



三次元(3D)レーザースキャナ



交通事故の検証活動



暴走行為の採証活動

交通事故の抑止

3 交通安全思想の普及促進

(1) 効果的な交通安全教育の推進

- 幼児や小学生に対しては、交通安全に関心を持ってもらうため、視聴覚教材等を活用した交通安全教室を開催したほか、中学生や高校生に対しては、自転車シミュレーターやスケアード・ストレイト方式による参加・体験・実践型の自転車教室を推進しました。

また、ヘルメット着用はもとより、高校生の交通安全意識の高揚を図るため、自転車の安全利用を推進するモデル校を指定しました。

※「スケアード・ストレイト方式」…スタントマンによる交通事故再現等により、恐怖を直視する体験型教育手法

- 高齢者に対しては、各種会合にあわせた交通安全教室や、夜間における交通事故遭遇の危険を軽減するための反射材の直接貼付を行ったほか、「高齢者交通安全ガイド」（警察官OB）が世帯を訪問し、個別にその対象に応じた交通安全指導を実施するなど、きめ細かな交通安全教育を推進しました。

- 「交通安全教育推進隊」が各地で開催されるイベント等に参加し、交通安全教育車「まなぶちゃん」やシートベルト着用効果体験車等を活用した出前型、参加・体験・実践型の交通安全教育を推進しました。

(2) 交通社会の一員としての自覚と責任を促す啓発活動の推進

- 令和6年11月に施行された改正道路交通法により、自転車の危険な運転に新しく罰則が整備されたことなどに伴い、自転車の新たな交通ルールやペダル付き電動バイクの正しい交通ルールの理解について広報啓発活動を推進しました。

また、9言語に対応した自転車安全利用五則チラシを作成し、外国人に対しても自転車の安全利用を呼び掛けました。

- 交通安全運動期間を中心に関係機関・団体と連携した交通安全キャンペーンの実施や、SNS、動画共有サービス、デジタルサイネージ等を効果的に活用した広報・交通安全情報の発信を通じて、県民の交通安全意識の高揚を図りました。



スケアード・ストレイト方式の
自転車教室



自転車安全利用推進モデル校



高齢者交通安全ガイドによる
世帯訪問活動



交通安全教育車を活用した
交通安全教室



道路交通法の一部を改正する
法律の広報啓発リーフレット



9言語対応の
自転車安全利用五則チラシ

4 安全運転の確保

運転免許を自主返納しやすい環境の充実

運転免許を自主返納する高齢者の不安を解消するため、自主返納後に行政機関等の生活支援をスムーズに受けられるよう、地域包括支援センターとの連携に努めました。

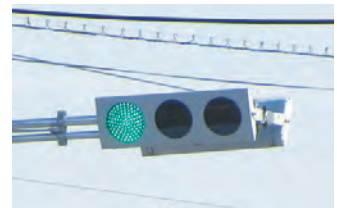


自主返納時の説明の様子
(相談者は模擬)

5 交通事故の起きにくい道路交通環境の整備

(1) 持続可能な交通安全施設の整備

- 視認性の向上を図るとともに、信号機の長寿命・省電力化を進めるために、信号灯器を白熱電球からLED灯火に変更する取組みを推進しました。



信号灯器のLED化

- 交差点のコンパクト化の観点を踏まえ、二段停止線や利用実態の低い自転車横断帯の廃止等、交通実態に応じた交通規制の見直しを推進しました。

(2) 生活道路、通学路等における交通安全対策

- 生活道路や通学路における児童等の安全を確保するため、学校関係者、道路管理者等と連携した交通安全総点検（17校区）を実施しました。



ゾーン30プラス

- エリア内の速度規制と物理的デバイスを組み合わせることで生活道路の安全確保を図る「ゾーン30プラス」整備事業を推進しています。

(3) サポート高松地区の交通環境整備

関係機関と連携し、県立アリーナ開館に合わせたサポート高松地区のプロムナード（遊歩道）化について、にぎわい創出と利便性や安全性を確保する観点から、必要な交通規制や交通安全施設等の整備を推進しました。



サポート高松地区プロムナード

(4) 大規模災害等に備えた交通安全対策

- 災害により停電が発生した場合においても、信号機の機能停止による道路交通の混乱を防止するため、自動起動式信号機電源付加装置等の予備電源を整備しました。
- 信号滅灯時の手信号実施要領、発動発電機による信号復旧要領のほか、緊急交通路指定時の緊急通行車両等に対する緊急通行車両標章交付要領等、災害の発生を想定した訓練を実施しました。



発動発電機による信号復旧訓練

テロの未然防止の徹底と大規模災害への対処力の強化

1 テロの脅威等への対処

(1) 官民一体となったテロ対策の推進

- 警察では、テロの未然防止及びテロへの対処体制の強化に取り組むため、情報収集・分析、水際対策、警戒警備、事態対処、官民連携といったテロ対策を強力に推進しています。

- テロ等を未然に防止するためには、警察による取り組みだけでは十分ではなく、関係機関や民間事業者、地元住民等と緊密に連携して「官民一体となったテロ対策」を推進する必要があります。

こうした取り組みを推進するため、平成30年10月に発足した「テロ対策パートナーシップかがわ」では、香川県等の関係機関・団体との連携強化を図りながら、定例会や訓練、合同キャンペーン等を実施し、テロに対する危機意識の共有や大規模テロ発生時における協働対処体制の整備等を行っています。

- 爆発物の原料となり得る化学物質を販売する事業者に対する販売時の身分確認の徹底の要請、不審購入者への対応要領の教示等を行っています。

また、テロを行う者の拠点等となり得る旅館、インターネットカフェ、レンタカー及び住宅宿泊事業者に対して、顧客に対する本人確認の徹底等の働きかけを行い、社会情勢の変化を踏まえながら、テロリストによる悪用の防止を図っています。



テロ対策パートナーシップかがわ定例会



テロ対策パートナーシップかがわの枠組みを活用したキャンペーン



テロ対策ポスター

(2) 極左暴力集団、右翼による違法行為の取締り

- 令和6年中、県内では極左暴力集団によるテロ・ゲリラ事件の発生はありませんでしたが、国内においては過去に飛翔弾発射事件等が発生しており、関連情報の収集と政府関連施設等への警戒警備を強化しました。

また、県民の理解と協力を得ながら、極左暴力集団の非公然アジト摘発のための各種対策を強化するとともに、違法行為の未然防止に向けた情報収集を図りました。

- 令和6年中、県内では右翼による街宣活動や対抗勢力に対する抗議行動が行われ、法令に基づいて暴騒音の取締りを行いました。

また、右翼によるテロ・ゲリラ事件の抑止のため、情報収集や資金源犯罪の取締りに努めました。

テロの未然防止の徹底と大規模災害への対処力の強化

(3) 諸情勢に応じた警護等の徹底

- 警護をめぐる情勢等を踏まえつつ、警護員に対する教養訓練を実施するなどして、更なる警護の強化に向けた取組みを推進しました。
- 第50回衆議院議員総選挙において警護対象者が参加する街頭演説等では、主催者等に手荷物検査の実施を働き掛けるなどして、警護対象者及び聴衆の安全を確保しました。



警護現場における手荷物検査

(4) テロ・武力攻撃への対処

高松空港をはじめとする公共交通機関や重要インフラ施設等でのパトロールを行うなど、警戒警備を強化するとともに、施設管理者と共同訓練を行うなど連携強化を図りました。また、武装工作員等の不法行為を想定した自衛隊との共同訓練やテロを想定した高松港での対処訓練を行い、関係機関との連携強化を図りました。



自衛隊との共同テロ対処訓練

2 大規模災害への対処力の強化

(1) 災害警備指揮体制の強化

災害時に迅速に初動体制を確立するため、大規模災害を想定した災害警備本部設置運営訓練や警察本部代替施設設置訓練を実施するなど、指揮体制の強化を図りました。



災害警備本部設置運営訓練

(2) 部隊対処能力の向上

- 大規模災害を想定した中国四国管区広域緊急援助隊災害警備訓練（島根県）に参加するなど、部隊の救出救助能力の向上を図りました。
- 県内で実施された中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練及び香川県総合防災訓練など関係機関主催の合同訓練に参加し、災害時の対処能力向上を図りました。



広域緊急援助隊災害警備訓練

(3) 令和6年能登半島地震への特別派遣活動

令和6年能登半島地震の発生に伴い、石川県公安委員会からの援助要求を受け、香川県警察広域緊急援助隊（警備部隊）をはじめとする警察災害派遣隊が石川県に入り、被災地での救助活動等に従事しました。



令和6年能登半島地震特別派遣

警察活動を支える基盤の整備と柔軟な組織運営の推進

1 県民の視点に立った警察活動の推進

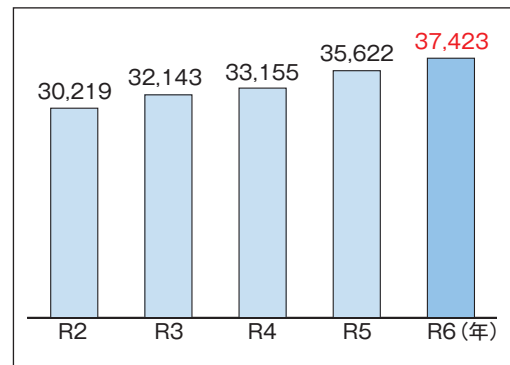
(1) 県民からの意見・要望等への適切な対応

- 警察署の事務処理に民意を反映させるために設置された警察署協議会を、令和6年中は県下12警察署で延べ48回開催しました。協議会では、警察署長が様々な課題について諮問を行い、委員の答申を生かした業務運営に取り組むとともに、委員から寄せられた様々な意見・要望等を警察活動に反映するよう取り組んでいます。



警察署協議会の開催

- 県民から寄せられた相談等に対し、相談の総合窓口と関係部署が連携し、相談者の不安を解消するために必要な措置を講じ、適切に対応しました。令和6年中の相談受理件数は3万7,423件（前年比1,801件（5.1%）増加）となっています。



相談受理件数の推移(件)

(2) 警察活動に対する県民の理解と協力を得るための積極的な情報発信

- 県警の各種広報媒体を一元化したスマートフォン用の「香川県警察安全・安心アプリ『ヨイチポリス』」を令和6年7月1日に配信し、県民一人ひとりの防犯意識の高揚、交通安全意識の醸成及び安全に対する主体的な行動の促進を図り、安全・安心な香川県の実現に取り組ましました。
- 香川県警察音楽隊は、県民と警察を結ぶ「音の架け橋」として、交通安全教室、防犯教室等の各種イベントに出動したほか、第9回香川県警察音楽隊演奏会を開催するなど演奏を通して県民の安全・安心に関する啓発活動を行い、交通事故防止や犯罪被害防止等と呼び掛けました。



香川県警察安全・安心アプリ「ヨイチポリス」

警察活動を支える基盤の整備と柔軟な組織運営の推進

(3) 犯罪被害者支援活動の推進

- 犯罪被害者等に対して、「被害者の手引」を配付し、捜査状況等の情報提供を行うなど心情に配慮した支援活動に努めるとともに、フリーダイヤルの性犯罪被害専用相談電話「#8103(ハートさん)」を24時間体制で運用し、性犯罪被害者への支援を推進しました。



被害者支援パネル展

- 公益社団法人かがわ被害者支援センターと連携して、中学生・高校生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」や被害者支援パネル展、犯罪被害者支援講演会を開催するなど、犯罪被害の実態や犯罪被害者支援の重要性等に関する広報啓発活動を行いました。



命の大切さを学ぶ教室

2 第一線における職務執行を支える取組みの推進

(1) 組織を挙げた人材確保の取組み

- 将来の警察組織を担う優秀な人材を確保するため、各種警察活動を通じて積極的な採用募集活動を推進しました。
- 警察業務の魅力ややりがい等を身近に感じてもらうために、警察学校、交通機動隊、警察署において体験型業務説明会を開催しました。



警察学校での授業体験



警察署での鑑識体験



交通機動隊による警察車両乗車体験

警察活動を支える基盤の整備と柔軟な組織運営の推進

- 大学生を対象としたインターンシップ（職業体験）を警察の各部門において実施しました。

例えば、生活安全部門では、非行防止に向けた動画を作成し、交通部門では、交通事故事件捜査体験として、塗膜やスリップ痕等の確認、採取といった車両の実況見分を体験してもらいました。発見した痕跡の写真撮影による証拠化措置など、より実務的なプログラムを実施しました。



インターンシップでの交通事故事件捜査体験

- SNSを活用した情報発信の一環で、採用試験や業務説明会等のイベントに関する情報をInstagramで発信しました。

採用試験に関する情報以外にも警察学校での入校式、普段の授業風景、卒業式、インターンシップの様子等、広く情報を発信しました。

なお、これらは右記の2次元コードから閲覧可能です。



Instagramのサムネイル



Instagram 2次元コード

(2) 現場執行力向上に向けた教養・訓練

- 卓越した専門的技能や知識を有する職員を「技能指導官」に指定し、警察署等での講義や実際の活動現場で同行指導を行うなど実務的な教養を行い、技能の伝承を図りました。
- 「青年警察官フォローアップ講座」や県下12署による実戦的総合訓練指導技法発表会を通じて、若手警察官の職務執行能力と指導者の指導力の向上を図りました。



技能指導官による教養



青年警察官フォローアップ講座



実戦的総合訓練指導技法発表会

- 凶悪犯罪や様々な治安上の課題に的確に対処できる精強な執行力の確保を目的として、柔道、剣道、逮捕術及び拳銃等の術科訓練や、あらゆる事態を想定した対処訓練を継続的に行いました。

警察活動を支える基盤の整備と柔軟な組織運営の推進

- 術科技能の向上と士気高揚を図るとともに、力強い警察活動を推進し県民の安全を守るため、柔道・剣道大会や逮捕術大会等、各種術科大会を開催しました。



交番襲撃への対応訓練



県下警察逮捕術大会



県下警察駅伝大会



県下警察柔道・剣道大会(柔道)



県下警察柔道・剣道大会(剣道)

(3) 働きやすい職場環境づくり

- 男性職員の家事・育児等の家庭生活への参画を促進し、出産後の配偶者を支援するために「香川県警察次世代育成支援及び女性職員の活躍推進特定事業主行動計画」の数値目標として定めた「男性職員の育児休業取得率 50%」及び「男性職員の配偶者出産休暇及び育児参加のための休暇取得率 100%」の達成に努めました。その結果、男性職員の育児休業取得率は令和5年の 46.0%から令和6年には 68.0%へと向上し、男性職員の子育て目的の休暇取得率は令和5年から 100%を達成しています。
- 男性職員の育児休業等取得を促進するため、子育て目的の休暇等を取得する男性職員が勤務する警察署に対し、業務支援のための職員を警察本部所属から派遣する制度を開始しました。
- メンタルヘルスケアへの正しい理解のため、所属における責任者や全職員を対象とした教育を実施したほか、生活習慣病の予防を推進するため、各年代に応じた運動メニューを体験するフィットネスデーを開催しました。
- 職員の在職中から退職後にわたる人生をより充実したものとし、安心して良質な生活を送れるよう、家庭経済設計などに関する情報を提供したほか、資産形成などの専門分野で活躍する部外講師による生活設計セミナー・研修を各世代ごとに開催しました。

福利厚生 職員が安定した生活が送れるように様々な制度があります。

互助会事業

カフェテリアプラン※ 10,000円
リフレッシュ活動助成 施設利用ごとに 300円
資格取得助成 2,000~5,000円 など

ほかにも、結婚祝金や出産見舞金の給付や、福利厚生サービス「ベネフィットステーション」を利用することができます。

※職員が自主的に選択した各種福利厚生の利用の範囲・助成項目について、その費用の一部を助成する選択型福利厚生制度

休暇制度

有給休暇 年間最長 40日
夏季休暇 5日
年末年始休暇 12月29日~1月3日

このほか、結婚休暇、育児休暇、介護休暇など、様々な休暇制度があります。

数字で見る香川県警察 (令和5年中)

有給休暇取得実績 12.8日
夏季特別休暇取得実績 5日
育児休業取得率 男性 46% 女性 100%

香川県警察 採用案内



<https://www.pref.kagawa.lg.jp/police/kskeimu/saiyou/index.html>

ホームページ

警察活動を支える基盤の整備と柔軟な組織運営の推進**(4) 基本に徹した適正な職務執行及び警察活動の基礎となる警察施設の整備**

パトロールや巡回連絡等の様々な活動を通じて、地域住民の安全と安心のよりどころとなる交番・駐在所の計画的な整備を行いました。



小豆警察署坂手駐在所

3 警察運営の合理化・効率化の推進**(1) 警察力を最大限に発揮する警察情報システム等の構築・改善**

警察情報システムの一部業務を警察庁が整備する警察共通基盤へと円滑に移行したほか、警察情報システムの活用による警察活動の合理化・高度化を推進するとともに、情報セキュリティ対策の着実な実施に努めました。

(2) 治安情勢等の変化を踏まえた必要な分野への警察力の配分

技術情報等の流出防止に向けた経済安全保障に係る取組みや不法滞在事案等の取締り強化、国際テロの未然防止に向けた情報収集・分析などの諸対策をより効果的に推進し、国内外の情勢に的確に対処するための体制を構築するべく、新たに外事課を設置しました。



外事課発足式

(3) 業務改善の推進

- 警察業務の適正かつ能率的な運営及び規律の保持に資するため、県警察において取り組むべき課題等を踏まえた厳正な監察を実施しました。
- 警察職員の職務執行に対する苦情に誠実に対応するとともに、苦情内容の分析結果等を踏まえた業務改善により県民の視点に立った職務執行を行うよう努めました。

【警察学校における採用時教育】

- 警察学校では、誇りと使命感に裏打ちされた高い倫理観と職務執行能力を兼ね備えた警察官を育成するため、短期課程（大学卒業程度）では6か月、長期課程（高校卒業程度）では10か月の初任教養を行います。
- 憲法、刑法等の法学や刑事、交通等の警察実務、逮捕術・柔道・剣道等の術科訓練を通じて、職務執行に必要な基礎的知識や技能を修得させているほか、各種現場を想定した実戦的な訓練を実施し、実務能力の向上を図っています。
- 寮生活や情操教育を通じて、奉仕の精神や協調性を培い、豊かな人間性の涵養に努めています。



入校式



授業(法学)



点検教練



逮捕術



柔道



剣道



実戦的総合訓練(職務質問)



校外研修



卒業式

『人を、街を、未来を守りたい』

警察学校は、あなたの「やりたい」を「やりがい」に変える場所です。

事件・事故、緊急時の通報は

110

警察に対する相談は

シャープ キュー イチ イチ マル

#9110

#8103(プッシュ回線)

0120-694-110

087-831-9110(FAX可)

性犯罪の被害に関する相談(ハートフルライン)

087-831-8930

暴力団に関する相談

087-837-4970(本部)

0877-33-3015(中讃)

少年の非行問題等に関する相談

シャープハ レ バレ
#8080

安全運転相談ダイヤル(運転免許)



香川県警察公式
ホームページ



香川県警察
ヨイチポリス



香川県警察公式
X



香川県警察本部(広聴・被害者支援課) 高松市番町四丁目1番10号 TEL 087-833-0110